

安全上の注意

● 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることを生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



警告
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● メタルスズリ、ワイヤスズリ、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合は、金属製ダクトとメタルスズリ、ワイヤスズリ、金属板などが電気的に接触しないよう取り付けると、漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
● レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラッパ網など）と接触しないよう取り付けると、漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
● 交流 100V 以外では使用しないこと
● 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること
● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 落下によりけがをするおそれがあります

注意
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
● 周囲温度が 40℃ 以上になる所には取り付けないこと
● 取扱いの際は必ず厚手の手袋をすること
● ファンや部品の取り付けは確実にすること
● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 落下によりけがをするおそれがあります

注意
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
● 周囲温度が 40℃ 以上になる所には取り付けないこと
● 取扱いの際は必ず厚手の手袋をすること
● ファンや部品の取り付けは確実にすること
● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 落下によりけがをするおそれがあります

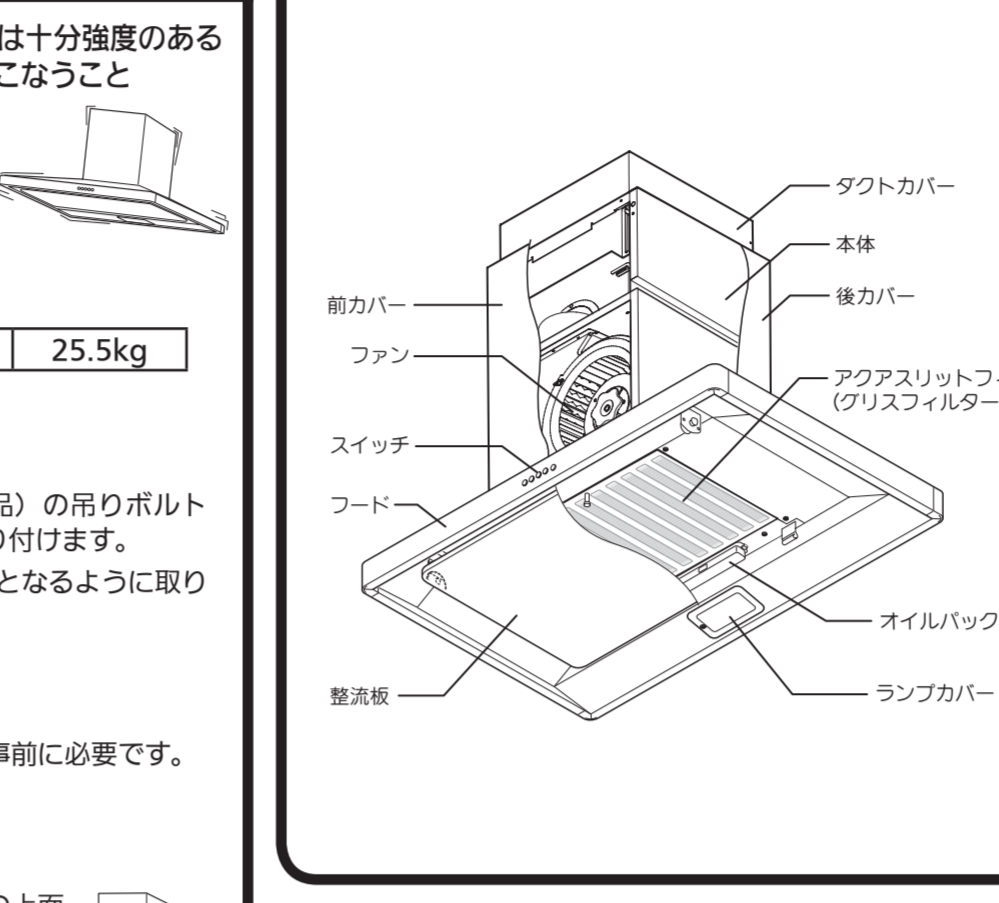
取り付け上のお願い

● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
● 大工工事（設置のための下地工事等）
● 配線工事（コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用以外の配線接続等）
● 管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】
● 流湯業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。
● ダクトの不燃処理について
● 調理機器の種はレンジフードの種以内のものをご使用ください。
● 屋外壁面の排気出口に取付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m³/分時 50Pa 以下のものをご使用ください。
● 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいまいちしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
● 製品は調理機器の真上に取付けてください。
● レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。
● 電気は専用のコンセントおよびブレーカーを設けてください。
● 製品の中央で調理される場合は油煙が噴きまきれますので、お台所の全体換気のために他の換気扇と併用していただければ、より優れた換気ができます。
● 寒い地域ではダクトが結露し体内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。

取り付け前の調査と準備

警告
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラッパ網など）と接触しないよう取り付けると、漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
● 本体とダクトは、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
● 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● 取付けの際は、必ず厚手の手袋をすること
● 周囲温度が 40℃ 以上になる所には取り付けないこと

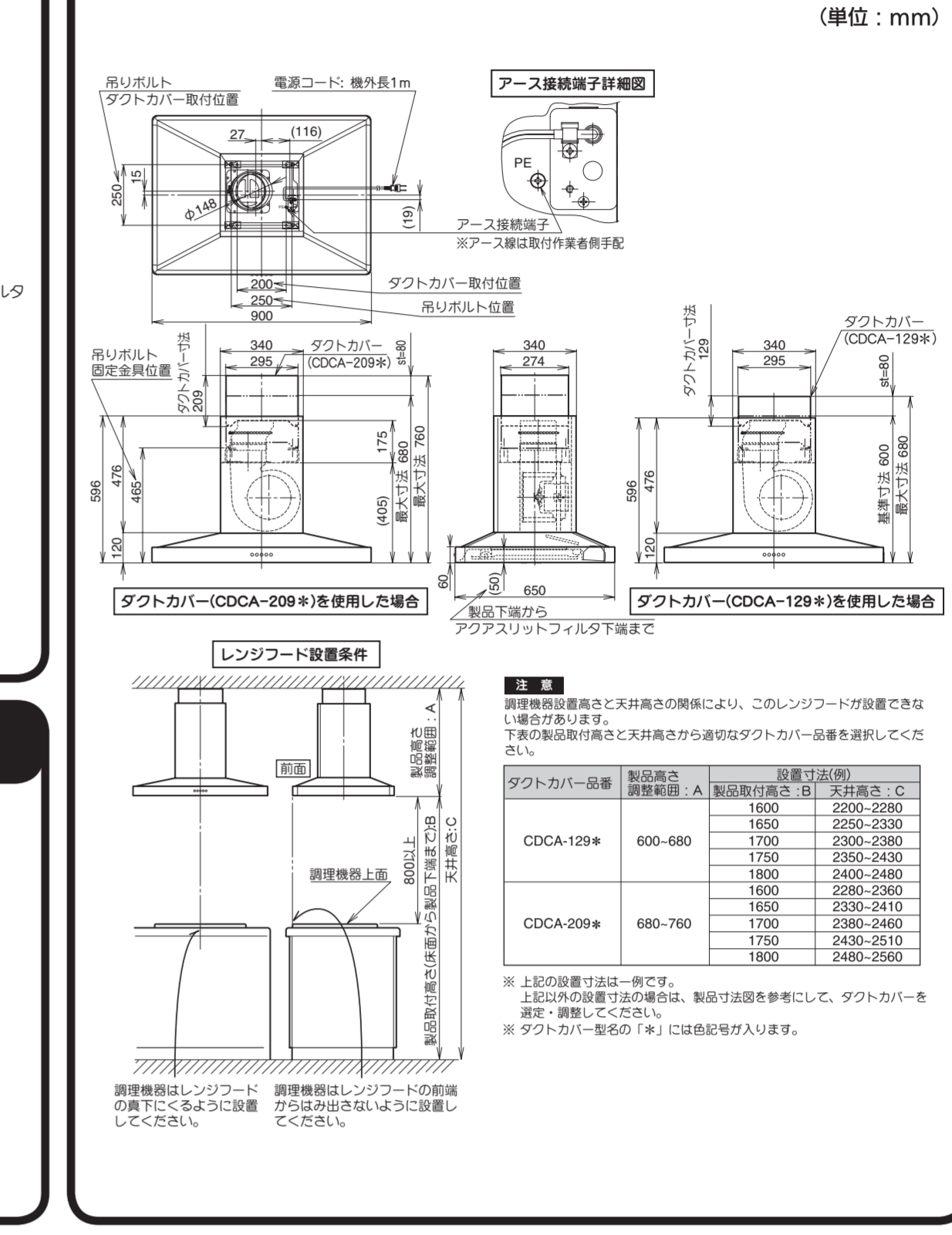
各部のなまえ



付属品

- トラスねじ (M4 × 10) 4本
ダクトカバーと本体との固定に使用します。
ソフトテープ 1本
排気口とダクト継手のすまきをさぐくに使用します。
ダクト継手 1個
排気口とダクトを接続するのに使用します。

製品寸法図



取り付けかた

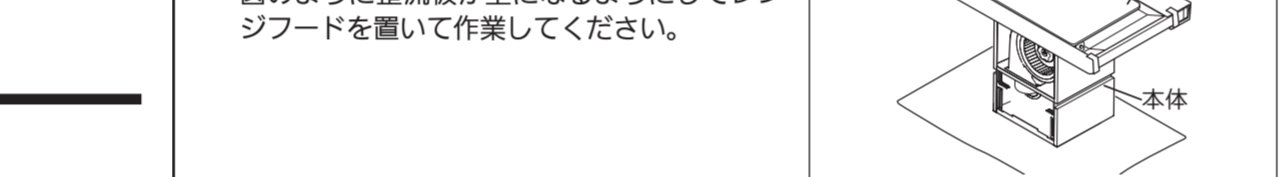
1. 付属品の確認

注意
● 取扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
● 作業は 2 人以上でおこなうこと
● 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
● 保護用のクッション材と固定テープは取付作業が完了するまでキズ・破損防止のためはずさないでください。
● 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。

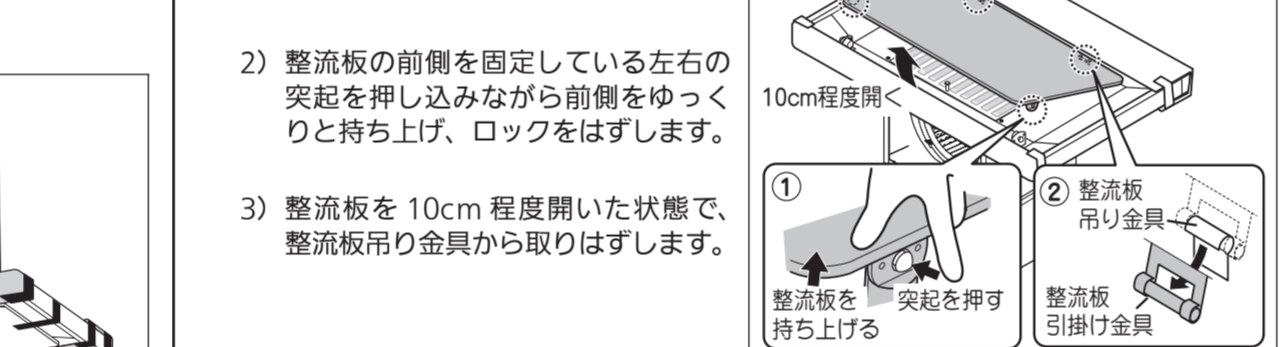
2. 取付準備

警告
● メタルスズリ、ワイヤスズリ、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合は、金属製ダクトとメタルスズリ、ワイヤスズリ、金属板などが電気的に接触しないよう取り付けると、漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
● 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● 本体とダクトは、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 周囲温度が 40℃ 以上になる所には取り付けないこと

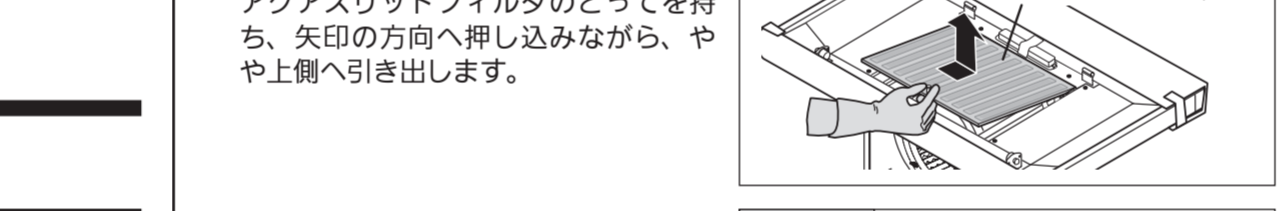
3. レンジフードの天地を反転させます。



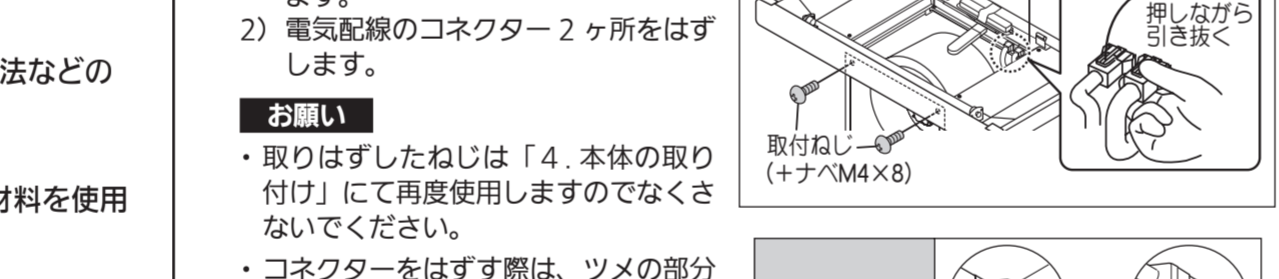
4. 整流板をはずします。



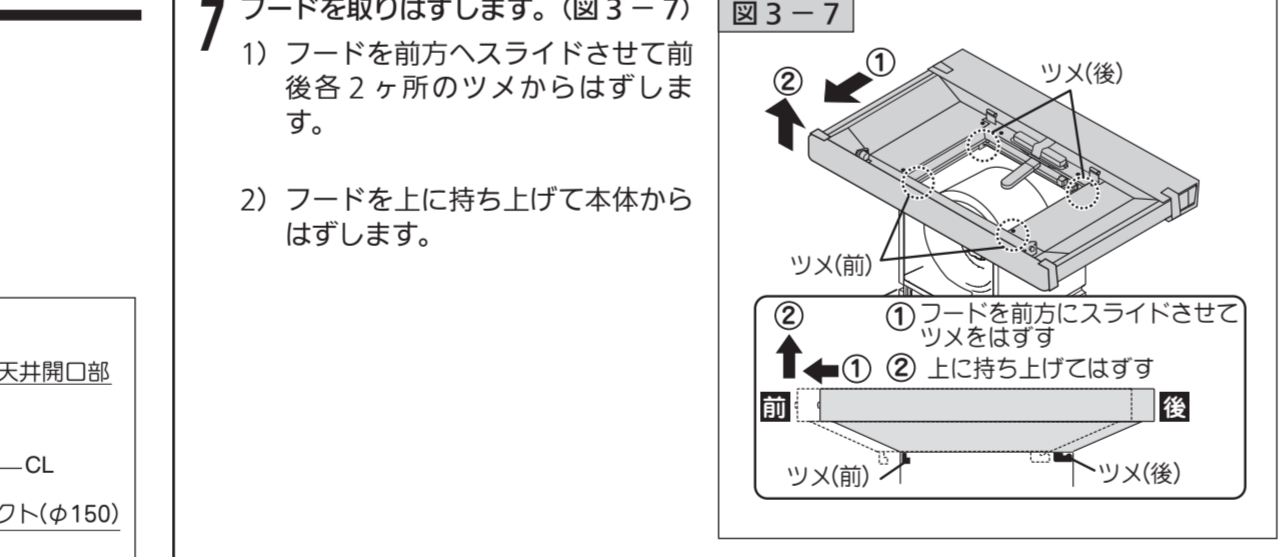
5. アークスリットフィルタをはずします。



6. フードと本体を分離します。



7. フードを取りはずします。



4. 本体の取り付け

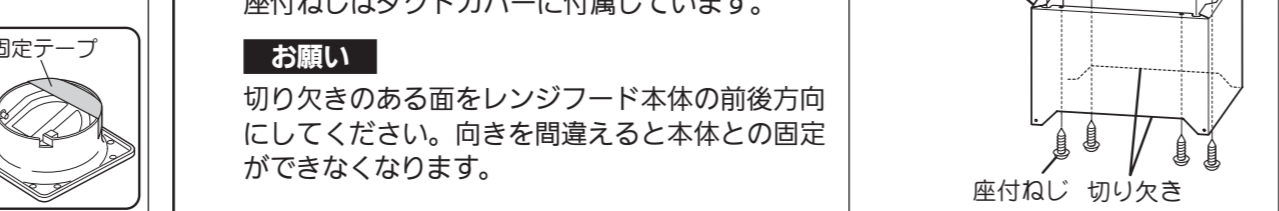
注意

● 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 落下によりけがをするおそれがあります

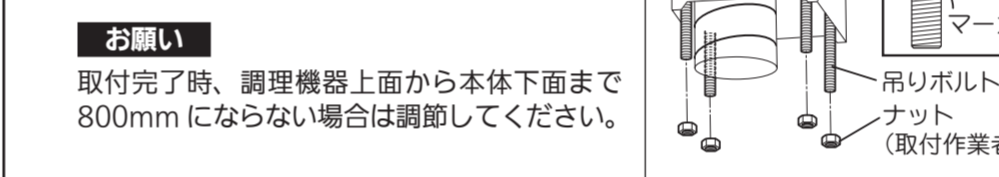
1. レンジフードの固定位置を決めます。



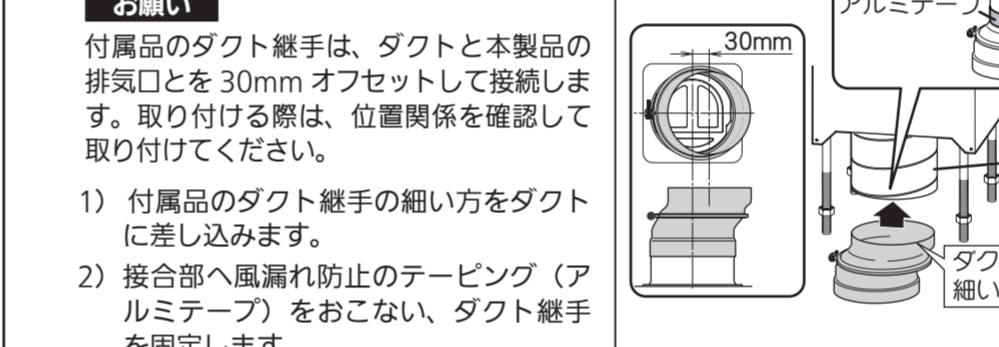
2. ダクトカバー（別売部品）を取り付けます。



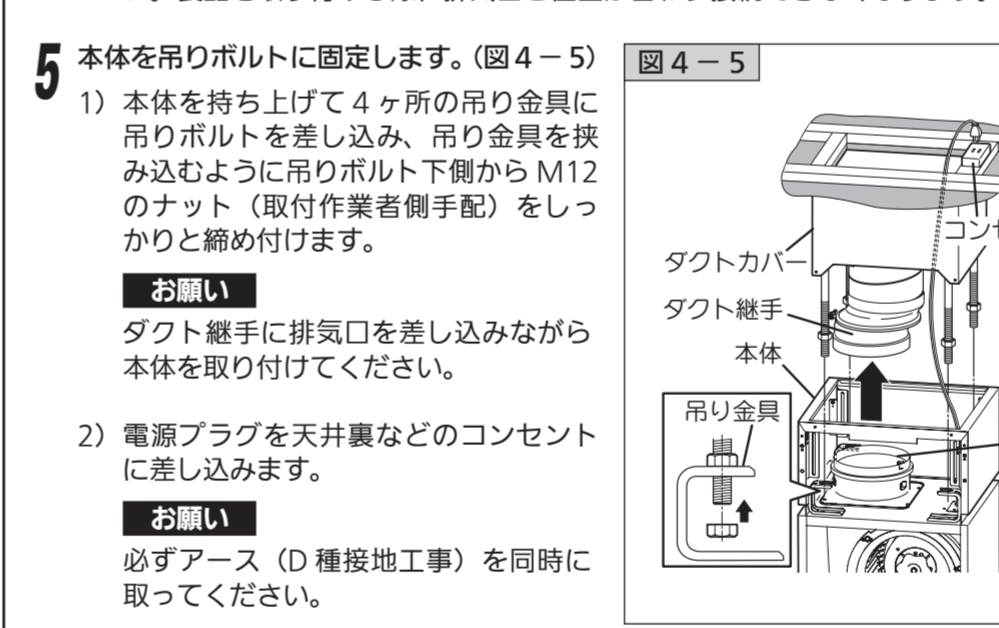
3. M12 のナット（取付作業側手配）を吊りボルトのマーカ位置までねじ込みます。



4. ダクトにダクト継手を取り付けます。



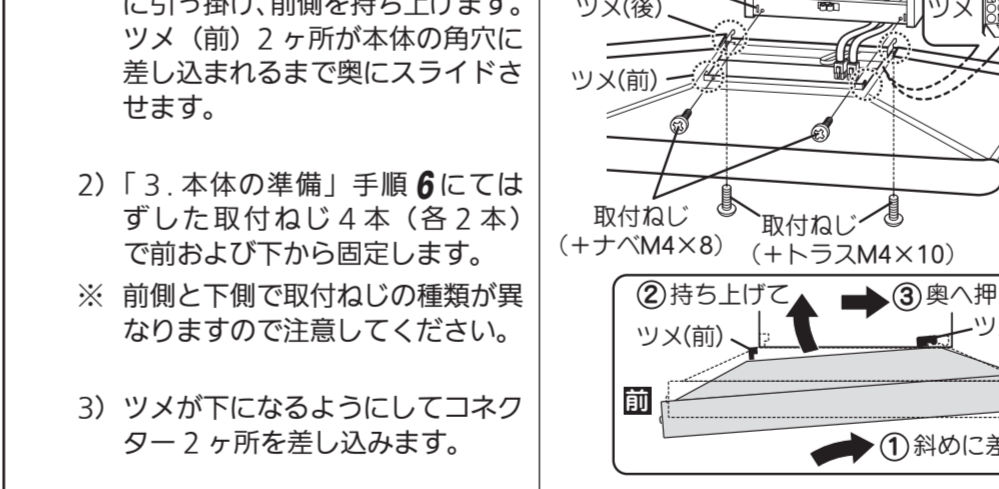
5. 本体を吊りボルトに固定します。



6. ダクトカバーと本体を固定します。



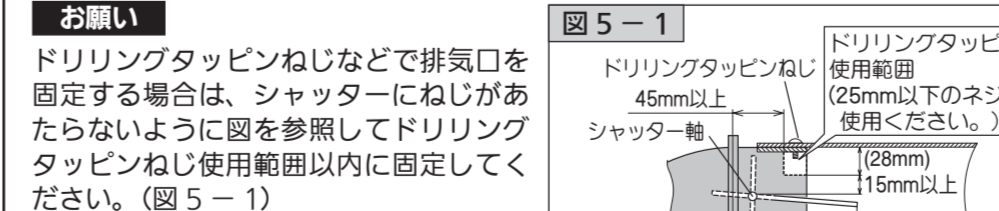
7. 本体を取り付けます。



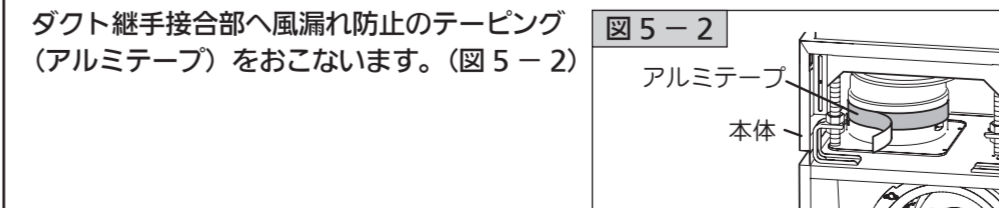
5. ダクトと排気用部品の接続

● コネクタの接続は確実におこなってください。
● コネクタを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。

6. ダクト継手接合部（風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこないます。



7. 排気口設置時の注意

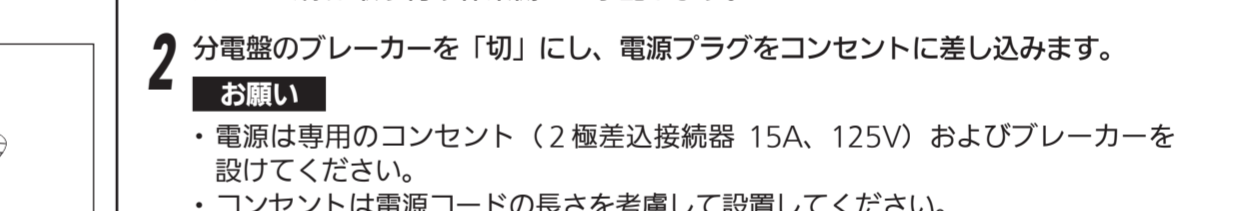


6. 電気配線

警告

● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 交流 100V 以外では使用しないこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● アースを確実に取り付けると、感電や漏電のおそれがあります

1. アース（D 種接地工事）を行います。



2. 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。



7. 組み立て

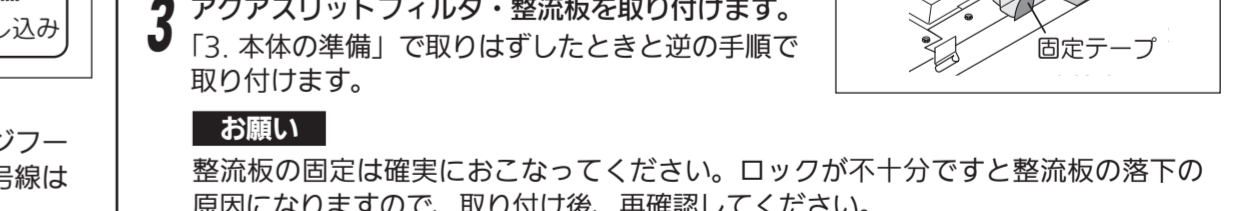
注意

● ファンや部品の取り付けは確実にすること
● 落下によりけがをするおそれがあります

1. 本体に前カバー・後カバーを取り付けます。



2. 前カバーは上部のツメを引っ掛けて上方へずらしながら下部のローラーキャッチを取り付けます。



3. アークスリットフィルタ・整流板を取り付けます。



8. 試運転

注意

● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
● 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。
● 運転時、各運風の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
● 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
● 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。
● 取付けまたは各種工事で発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますのでご注意ください。

9. お客様への説明

● 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
● 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。